

カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER

〔ミサ時間〕 主日：7時・9時30分／ベトナム語（第2・第4日曜日）：14時／英語：16時

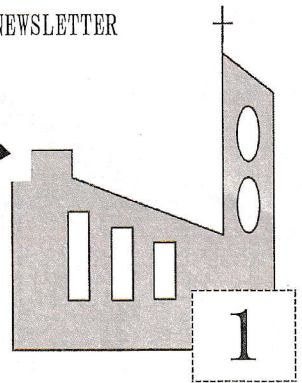
〔ホームページ〕 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ（土）18時

TEL: 092-741-3687 Fax: 741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者：中村 彰 神父



1 月 世界の平和

福岡教区年間目標：出向いて行く教会となる

大名町教会年間テーマ：出向いて行く教会となる！

Becoming a Church of outreach

1 月のお知らせ

◆7日（日）

- ・新成人祝福式（9時半ミサ）
- ・新成人の祝賀会・小教区新年会（9時半ミサ後）

◆21日（日）

- ・福音宣教の実践に向けて
シノドス実践…学習会（9時半ミサ後）
- *ともに歩む教会～第1回：交わり～
カトリック大名町教会主催

ジョン神父の勉強会

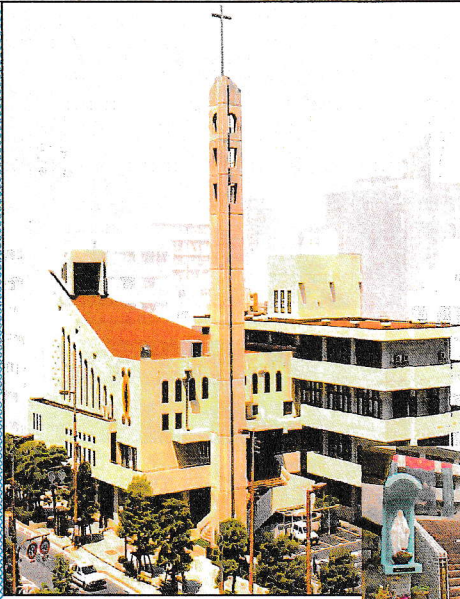
◆キリスト教入門

日程：毎週木曜日 10時・19時

◆聖書の分かち合い

日程：毎週木曜日 14時

*右のQRコードを読み取ると
ジョン神父の聖書講座を見
ることができます。



新年おめでとうございます！

一月一日は「神の母聖マリア」の祭日。
そして「世界平和の日」。一月は特に世界
平和を祈る月。
マリアさまを通して救い主を与えてくだ
さった神さまに感謝し、救いの喜びを味わ
うことができますように。世界に平和が訪
れますように祈り続けましょう。

ゆるしの秘蹟：希望される方は、司祭に直接ご相談ください。（定期：毎週土曜日 10時～11時半）

ベトナムのテト（旧正月）で大事なこと

私の母国はベトナムです。日本の正月は1月1日から3日までの間でしょうか。ベトナムではテトの日は、毎年少し異なります。今年は、2月10日から十日間くらいです。

1月8日くらいからテトの準備をします。家の内外やお墓の掃除、テトで食べるバインチュエンを作ります。バインチュエンは、四角い形をした大きなチマキです。ゾンという大きな葉に、もち米と豚肉・緑豆を入れて包み、8時間くらい蒸したものです。たくさん作ります。家によつて、味が少しずつ異なります。おふくろの味です。

2月10日。朝、ミサに与ります。この日は平和のために祈ります。世界の平和、国の平和、家族の平和。ミサの後、実家に子ども達家族が集まります。両親に新年のあいさつをして一緒に食事をします。バインチュエンを食べます。お酒も飲みます。両親は、孫たちにお年玉をあげます。私も甥や姪にあげます。久しぶりに家族集まって楽しい時を過ごします。

2月11日朝、ミサに与ります。この日は親のために祈ります。ミサの後、お墓参りに行きます。そして兄弟姉妹の家にいきます。昨日、両親の家で会い、一緒に食事をしたけれど、この日は兄弟の家に行つて食事をし、楽しくおしゃべりをします。兄弟が多かったり、遠方にいたりすると、あちこちに移動しないといけないので、とても忙しいです。

2月12日朝、ミサに与ります。この日は仕事のために祈ります。そのあと友達の家や恩師の家、隣の家を訪ねて正月の挨拶をし、その家で食事をします。

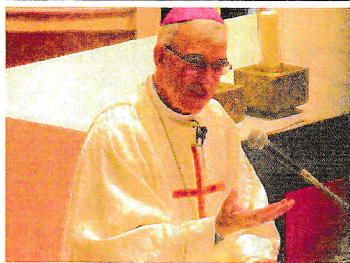
仏教徒は、もちろんお寺にお参りに行きます。私たちカトリック教徒は、正月の三日間、教会でミサに与り、それぞれの意向で祈ることが正月の一番大事なことです。

洗礼者ヨハネ ファムバン チュエン神父

主のご降誕おめでとうございます

主のご降誕を祝う12月24日の夜半ミサに約1030人、25日のミサに約340人が与りました。雨の中を千人を超える人が集まったのは、神さまが私たちの救いのためにひとり子をおつかわしになったことへの感謝と、平和を祈る強い思いがあったからではないでしょうか。

司教様はミサの中で、神さまがひとり子を人間の救い主としてお与えになることは2700年前のイザヤの預言にあること、捕虜になっ



て苦しんでいる人々にイザヤは、希望を失ってはならないと説いたことを話されました。また今のパレスチナの状況から「教皇ヨハネパウロ2世は、広島で『戦争は人間の仕業です。戦争は死です。』と言われた。」と話され、「憎しみは愛しかいやせない。今年のベトレヘムでは、イエス様は瓦礫の中に置かれていた。」「羊飼いたちは天使の言葉に非常に恐れしたが、出向いて行った。神を賛美しながら、喜んで帰っていった。私たちがイエスに会うために馬小屋に入らなければならない。平和を愛し、平和を作り上げていく人間に変えられていく。今年のクリスマスは特に、平和のために祈らなければならない。」と話されました。

ミサの後、久しぶりに会った人との再会の喜びがあちこちにあり、多くの外国籍の人たちの姿がありました。平和を祈る静寂とイエス様がお生まれになった喜びに満ちたミサでした。



外は雨。聖堂でのクリスマスキャロル。ハンドベルも使って。聖堂でのクリスマスキャロルも素敵ですね。
*一生懸命うたいました。



初めてのクリスマスミサの動画配信クルー



子ども達にプレゼントを手渡す司教さま

イエスさまをお迎えしました！ みんなで祈り みんなで奉仕 それは みんなの喜び



道行く人々に、平和の主であるイエスさまのことをお知らせしたい。



待降節の日曜日ごとに1本ずつ火を灯しました。最後のロウソクは「白」。光がやってきます。「アドベント」は、キリストの到来。ラテン語。

毎週、預言者のことばを伝えます。



闇の中を歩んでいた民は、大いなる光を見た。ひとりのみどりごが、私たちのために生まれました。
(イザヤ書 9.1.5)



イエス様をお迎えするために、お掃除、お掃除

*「僕も頑張ってます。」



一緒に神さまを賛美しましょう！

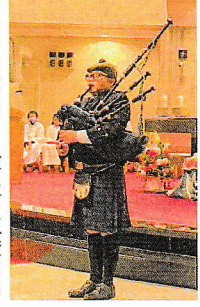
主日のミサが始まる前(9時より)に、1階講堂で、その日の聖歌を練習。ミサの後には、次週や新しい聖歌などを、聖堂で練習しています。どなたも一緒に聖歌で祈りを捧げませんか。いつもお待ちしています。

聖歌隊



最後に韓国のバグパイプ奏者が「アメイジング・グレイス」を演奏し、ウクライナ出身の人が、祈り、支援してくれた人への感謝の言葉を述べました。(アンナ・ルー)

約170人が、大楠教会のパウロ神父様司式のごミサに与りました。神父様は飼いの葉桶の中のイエス様のことを説明し、みんなで平和を祈りました。



クリスマス 英語ミサ



祈りをとても大切に祈りました。皆さまのお恵みが豊かにありますように。(チュエン神父)



ベトナムの人が約190人集まって、チュエン神父司式でミサをささげました。救い主の誕生を祝い、毎日の神さまのお恵みに感謝しました。帰りたくてもなかなか帰れない母国にいる家族や大切な人のことを思い、幸せと平和を祈りました。世界の平和を祈りました。

街頭募金

あなたの愛を

11月26日(日)のミサの後、教会共同体の行事として街頭募金を行った。大名町教会の宣教司牧評議会委員、教会学校スタッフと子どもたち、保護者や信徒が、天神界限の4か所に立った。



子どもたちの「ウクライナの子どもたちへの募金をおねがいします!」という大きな声に応えるように募金してくださる人、同じ年齢くらいの子に金を持たせてくださる人など。

昼過ぎに教会に戻ってきたみんなを、パンと温かい飲み物を用意して評議員、信徒の方が待っていた。パンをほおばる子どもたちの笑顔が輝いていた。

この温かい募金は、カリタスジャパンを通してウクライナに送られる。街頭募金で集まった金額は71,529円、聖堂での信徒の募金19,766円、英語ミサ参加者から59,396円、計150,691円。

街頭募金に立っていただいた方、募金していただいた方、支援していただいた方、ありがとうございます。

集まろう! 青年センター

青年が、いつでも集まれる、そこに行けば友がいる、そんな居場所がほしいという願いのもと、大名町教会の1階に青

年センター(仮)を設置させて頂くことになりました。正式名称は検討中。4月からスタート予定で4月28日にオープン記念ミサイベントを行います。



先日3週間ほど週2日予行練習。12月17日、最終日のクリスマス会では、16名が集い大盛況でした。青年のなかまたちと集うことは、小教区や社会で頑張るエネルギーになります。なかまを通してイエス様が共にいると確信できます。そんな気持ちを分かち合える場所を作ってきたいです。オープンに向けてどうぞお祈りください。ミカエラ 荒牧結花

認知症講座

十文さん△口おわり



大名町教会宣教司牧評議会委員会は12月3日(日)ミサ後、福岡市社会福祉協議会の出前講座「認知症を学び地域で支えよう」を実施しました。37人の受講。講師の岡本孝氏(介護福祉士)はパワーポイントを

164万人の中に約4万人の認知症の方

第74回市民クリスマス



開場を前に、感謝の祈りをささげる実行委員のみなさん。

今年で74回目を迎えた12月1日に開催された福岡市民クリスマス。市内のカトリック教会とプロテスタント教会が教派を超えて市民を招き、平和の君、キリストの誕生を共に喜び合うための催しです。ウクライナやガザの悲惨な状況を目にするたびに、終戦後の困難な時期に第1回目を開催した先人の想いを未来に引継ぐ使命を重く受け止めます。イエスの降誕を祝い、「光」を待ち望む人々とともにクリスマスを迎え、喜びのうちに祈ります。洗礼者ヨハネ 濱辺敏樹

がいる、その中には65歳以下の方もいて、高齢者だけが罹患するものではない。認知症は脳の病気であり、そのために「忘れる」「間違える」「分からん」「出来ん」という認知機能の障害が出てくる。様々な行動を起こしたり、心理状態になったりする。「困った人ではなく、周囲の適切な対応で、症状は激減する」「認知症の人は自分自身を変えられない。まずはあなたが変えることから始まる。」との言葉は、認知症の人への対応で最も大切なことだと分かった。参加者の感想には、認知症の知識を得てよかった、認知症への対応をもっと詳しく知りたい、介護する家族が壊れる前に、いきいきセンターや施設とかを知りたいなどの意見があった。他人ごとでなく、家族や自分に起こりうるものとして、勉強していくことの大切さを教えられた講座であった。

宣教司牧評議会

(12月10日)

I. 議題

(1) 降誕祭ミサ準備状況について(典礼部)
12月24日主日ミサ後のクリスマス夜半ミサの準備およびクリスマス飾り付けの状況について確認した。馬小屋の飾り付け等は外国語ミサの方と共同で行って連帯を深めるきっかけになるテーマであり、今後の課題として検討する。

(2) 大掃除の体制について(美化部)

12月17日ミサ後の年末の大掃除に関して美化部より実施計画の説明があり確認した。尚、外国語ミサの方との共働の在り方について話し合いを持つことを今後の課題とする。

(3) 新成人祝福式と小教区新年会について(行事部)

1月7日の新成人祝福式について新成人対象者10名に対し案内を出し、出欠の回答待ちの状況である。当日は併せて小教区の新年会を行う。

(4) 立て看板、掲示板検討委員会の現状報告と今後について

第3回立て看板、掲示板検討委員会において2社によるプレゼンを受けたが十分ではなかった。

検討委員の飛永さんに具体的なデザインの検討を依頼し、第4回(12月13日)時に提案いただくこととした。

(5) 広報部による各部紹介をうけてのフォローについて(広報部)

教会ニュース11月号、12月号で各部、アクシオン団体の紹介を行ったが、各グループへの信徒の参加を促進し組織の形成を実現していくために、今後、各部・アク

シオン団体の紹介一覧および小教区組織図を掲示板に貼って、参加を呼びかける。

(6) クリスマス特別献金と寄付先について(財務部)

今年度のクリスマス特別献金の寄付先として、ガザ地区人道支援と美野島司牧センター支援に各100,000円をあてる事とする。

・次年度教区への予算申請について(1月末まで)
・次年度教区への予算申請は現在の所、営繕部において「電気系統の幹線工事」が見込まれている。

(7) 街頭募金の振返りについて(行事部)

11月26日(日)に行った街頭募金は、子ども12人、大人25人の参加があり、150,000円が集まった。子どもたちにとっても有意義な活動となった。一方、今後改善すべき課題についても振り返りを行った。

(8) 塔屋漏水補修工事について(営繕部)

・塔屋外壁面の防水性能強化工事及び4階エレベーターホール天井面の「雨染み」部分の補修について、工事金額 957,000円(税込み)が承認された。

・営繕部報告事項

①過去の工事履歴を10冊にまとめてファイルリングし直し、保管場所を決めて閲覧出来る様にした。

②「司祭室リノベーション」工事は2024年2月13日(火)～2月24日(土)に行うこととし、工事内容、仕様等の報告があった。

(9) 行事企画申請書について

教区行事等他様々な企画について共同体としての一致の内に円滑な遂行を図るため、「施設使用の申請書」の書式を、評議会における審議にも活用することとする。

する。

II. 報告事項

①ホームページの現状報告と今後について
新しいホームページを2か月程かけて作成する。新しいホームページは教区ホームページとの連動性やスマホへの対応を考慮して誰でもが更新できるように改善を目指す。

②1月21日シノドスの実践「共に歩む教会」交わり」の学習会(第1回)について
*本件は、今、シノドスでのテーマとなっている「共に歩む教会」(交わり)(参加)(福音宣教)の実践に向けて、教区養成チームの協力を得ながら大名町教会主催で行う計3回の養成プログラムである。

③1月14日の教区財政の地区報告会に大名町教会から吉田会長、高木さん(財務部)2名が出席する。

④12月3日宣教地召命促進の日献金50,000円

⑤12月10日福島のりんご販売(ガザ地区人道支援) 6,000円

大名町教会の現勢

(11月26日～12月22日)

【転入】ようこそ

・フランシスカ 小堀 雅子

・【転出】お元気で
(鹿児島・大熊より)

・ヨアンナ 岩川 百合子

【帰天】永遠の安息をお祈りします
12月22日

・ペトロ 三浦 啓作

大切なもの

祈り、信仰の喜び、大切さを「歌」で教えてくださったのは、2017年に帰天された声楽の師 ベルタニヨリオ神父様です。神父様は1950年に来日され、司祭・音楽大学の音楽教授として過ごされました。オペラや歌曲、カンツォーネ様々な演奏会を企画されましたが、神父様が大切にされていたのは、イタリアのクリスマスソングを集めての演奏会、「歌」での宣教でした。イタリアではクリスマスには新しい歌が毎年何曲も作られ、国中で歌われてクリスマスを祝っているそうです。神父様はそれらを取り寄せて教えてくださいました。

「愛は大きいほど慎ましくあなたが返りを期待せず与えるなら、多くの愛を手に入れるでしょう。喜びの種を蒔きなさい。愛の種をまき、誠実さの種を蒔きなさい。心を費やし、人生を費やし、持っているものを全て費やしなさい。そうすれば真実の愛が生まれるでしょう」
(喜びを蒔きなさい)

「全ての物語の中で最も素晴らしい物語。ただ愛によってのみ作られた物語。ある冬の夜、貧しさの中で生まれた神の子が語る物語」
(偉大なる物語)

このような詩にメロディーが付けられています。歌っていると涙が溢れます。このように生きられたらどんなに幸せだろうと。でも出来ない。だから心が洗われていくように、もっともっと歌いたいと思います。

歌は、特にクリスマスの歌は、神様と祈りと愛する人たち、心の中に生き続ける人たちを強く感じさせてくれる大切なものです。
フランシスカ 岡本峰世